（別紙２）

３．助成対象事業の成果（結果）

【事業名】事業名のほか、Ａ事業①②、Ｂ事業の別も記入してください
Ｂ事業
「新たな商品開発、新事業展開及び創業等に向けた市場調査及び新規販路開拓支援」

【目的〈課題認識、方向性、目標、事業実施計画等〉】
県内企業及び創業者等による地域資源の活用、又は地域課題の解決に向けた商品開発、新サービスの展開並びに新事業展開等の事業への取組に対する支援の拡充、新たな案件の発掘を推進するとともに、企業の経営力向上に向けた販路開拓及び企業間連携を促進し、更なる地域経済の活性化を図る。
また、新たな支援企業等の発掘による、来年度以降の助成事業への活用に向けた支援制度の確立を目指す。
なお、財団においては、県内中小企業及び創業者が展開する「地域資源を活用したビジネス」及び「販路拡大」への取組に対し、助成金等による支援を行うほか、短期的な展示・販売会開催による商品の認知度向上に努めているところであるが、今後、企業による新商品開発、新事業展開等がより効果的かつ有効に行えるよう、今回の事業において多くの市場ニーズ（消費者の声）を集積する。

【成果（結果）〈実施事業の内容・実績、実施した結果生まれた新たな課題等〉】
今回の展示・販売会においては、新たな商品開発、商品の改良及び更なる販路拡大を目指す県内企業が有する食料加工品、工業製品・伝統工芸品を首都圏において展示・販売するとともに、商品購入者に対するアンケート調査を実施し、出展商品に対する消費者の意見集約を図った。
このアンケート調査結果について出展者ごとに取りまとめを行い、フィードバックすることにより、消費者ニーズに対応した商品の改良、新商品開発及び創業によるビジネスの展開等に向けた取組を加速化できるよう、当財団としても、財団が実施する助成事業等の活用、設置するコーディネーターによる相談対応等による継続的支援を実施していく事としている。

【評価〈目標の達成度〉、数値の検証等】
今回、長期間において首都圏消費者のニーズを集積することにより、県内企業等による市場ニーズに対応した商品開発、提供サービスの拡充及び既存商品のデザイン改良の効果的・有効的な推進、リピーターの獲得、事業終了後の各社ＥＣサイトへの誘導等による、首都圏購買率の向上を目指し実施したところ、実施会場が住宅地が隣接するという立地であったことからリピート顧客の獲得に繋がるとともに、両国という土地柄から外国人観光客が多く訪れる場所であったため、外国人の反応も見ることができ、国内外における販路拡大に繋がっていくものと推測している。
また、本事業を契機とした地域資源を活用した新たな商品開発及び創業等支援事案の発掘については、出展事業者による地域資源を活用した新たな商品開発・改良等等への取組が見込まれ、来年度以降活用を予定している、新事業展開等助成金交付事業（Ａ事業）等の助成事業等により支援することにより、県内企業の新事業展開へ繋げていきたい考えている。

【今後の進め方〈波及効果を含めて〉をどうするのか】

今回出展した事業者からは、パッケージデザイン、価格設定、ブランディング及びＰＲ手法等、今後の事業展開、商品開発及び改良、新分野への進出等を検討する事業者が多数見られたことから、今後、出展事業者との連絡を密にし、商品改良、ブランディング、新商品開発への取組に対する助成、相談対応等により支援を推進していく事とする。